

# 新倉壮朗&ペッカーハシダ

# 音と遊ぼう！

第1部：ミニコンサート

第2部：音と遊ぼう！



ペッカーハシダ



新倉壮朗 (Takeo Niikura)

日本パーカッション界の草分け的存在。1977年に渡米し、ブラック&ラテン系ミュージシャンとのセッションを重ね、帰国後に日本発のサルサ・バンド、オルケスタ・デル・ソルを結成。数多くの作品を発表。また、MISIA、坂本龍一、松任谷由実などのレコーディング・プレイヤーとしても活躍。近年は音楽による『メンタルヘルスケア』などにも力を注ぐなど、多岐にわたり活躍中。オルケスタ・デル・ソルとして、2018年10月メキシコ、キューバ、ドミニカ共和国へのコンサートツアー、大成功をおさめる。



1986年生まれ。ダウン症。幼少より音に豊かな反応を示し、特にリズム感が抜群で、体や楽器での表現は目を見張るものがあった。11才の時、アフリカのセネガルの太鼓「サバル」を知り、アフリカ音楽にのめり込む。2002年より「新倉壮朗の世界」と題して定期的にコンサートを開き、パワフルなステージを繰り広げている。また、各地で「タケオにしか出来ない、タケオだから出来る」コンサートを開催し、即興音楽の魅力と楽しさを発信している。

日時：3月9日(土)14:00～15:00

会場：社会福祉法人地の星 4階 町田市成瀬8-9-14

主催：ベロニカ苑ともの会(地の星後援会)

問合せ：042-728-9301

※入場無料